

「過疎地域の光」となれるよう「農福連携」の取組で共にがんばりましょう

白鳩会は開設49年になります。創立者である前理事長中村隆重の実弟が障害で定職を持つことができず、その弟を心配する母親を「何とかしてあげたい」「いっしょに働ける場所づくり」をしよう」との思いで立ち上げました。当初は、障害を持つ方が3年後に地域社会で自立した生活を送ることを目標にしていましましたが、自立のためには壁が多く、限界を感じました。そこで、「共汗共育」「障害者も自らの努力によって自立できる」という理念のもと、生活を支える「福祉」と彼らが働く「農業」で自立を目指す取組を始めました。

49年の間に支援方法も変わり、現在は利用者の意思を尊重した意思決定支援に取り組んでいます。また、利用者の適性を見極めながら、「得意」を活かせる作業の選択とサポートに心がけています。併設の花の木農場は「福祉・農業・観光を結びつけながら過疎化に悩む地域おこし」を目指して開場し、農場内は農産物・加工品生産とともに、観光客にも楽しんでいただけるよ

しらはとかい  
白鳩会

社会福祉法人



自家養豚場の白豚を使用した、メルシーハム・ソーセージや、ピーナッツ豆腐やお惣菜、ジェラートなど農場で出来た野菜や果物の加工品も人気です。



命のつながりを感じながら、めいっぱい愛情をそそいで育てます。



緑と青の大自然の中にひろがる花の木農場。つくる喜び、語る楽しさでいっぱいです。

う農場レストランでの飲食提供や彫刻作品の展示などを行っています。

花の木農場では、職員が作業にどれだけ真剣に取り組んでいるかを利用者に見せること、背中を語る「こと」が重要だと考えています。利用者の「農作業に取り組み、工賃をもらって、貯金もできました。祖母の頼みで実家のお風呂の改装費を出してあげられたとき、やっと孫らしいことができた嬉しくなり、給料をもらうことの充実感を初めて感じました」などの声をいただくと、これまでの苦勞も吹き飛んでしまいます。

花の木農場がある南大隅町は過疎化、高齢化という大きな課題に直面していますが、ここで地域の農業を支える役割を担いたいと考えています。昨年、大隅地域で「ノウフクコンソーシアム」が設立され、地域の企業・農家と福祉事業所が関係性を築きやすい環境が整いつつあります。このような取組を推進し、大隅から県内、全国へ向けて、さらに農福連携の取組を発信することができたらと思います。農福連携を通していろいろなつながりができ、利用者・職員の「見える景色」に広がりが出てくることにやりがいを感じています。

白鳩会・花の木農場は、ここでの生活、働きを通して、自分の、そして相手の成長を感じることが出来る場所です。是非一度、農場に足を運んでみてください。生き生きとした利用者の表情を見て、文章や写真では感じるの出来ない、何かを感じていただければと思います。

(常務理事 中村邦子)

社会福祉法人 白鳩会  
〒893-2501  
鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北 2105  
TEL : 0994-24-2517 FAX : 0994-24-2626  
HP : <https://shirahatokai.jp/>

